

上北圏域の市町村（十和田市・三沢市・野辺地町・七戸町・六戸町・横浜町・東北町・六ヶ所村・おいらせ町）が、県、国と連携して取り組むべき重点事業について県に要望書を提出しました。

10月15日に行われた知事と市町村長の意見交換会では、櫻田百合子市長が宮下宗一郎知事に対し、新規要望4件、一部新規要望2件、継続要望15件の要望を行い、そのうち2件について直接協力を求めました。



一部新規要望 1 子育て費用の無償化について（周産期医療関係医師の確保を含む）

市 全国どこに生まれても子どもが同じ支援を受けられるよう、3歳未満児の保育料、保育所などの副食費、学校給食費、子ども医療費の4項目についての無償化を国に対して強く働きかけていただきたい。また、全国一律の制度が創設されるまでの間は、県において引き続き財政支援をしていただきたい。

分娩^{ぶんべん}取り扱い医療機関については、本市をはじめ、上北圏域の妊産婦やその家族が安心して妊娠・出産を迎えられるよう、市立中央病院での分娩再開について必要な整備を考えているので、県において、周産期医師の確保・派遣について検討していただきたい。

県 子育て費用の無償化については、国への働きかけは日常的に行っているもので、圏域、県市長会等と一緒に強く働きかけていけたらと思っている。その中で、国が実施するまでの間は、県の「学校給食費無償化等子育て支援市町村交付金事業」があるので、これを活用していただきたい。

次に、周産期医療については、十和田市に分娩施設がないというのはよくない。まずは、市立中央病院の施設整備・体制を整えていただいて、弘前大学をはじめ医療機関等にお願いできる環境をいち早く作ってほしい。



一部新規要望 2 奥入瀬溪流における観光客の受け入れ体制の整備について

市 奥入瀬溪流に現在設置されている玉簾^{たまだれ}公衆トイレの水洗化、および石ヶ戸から子ノ口間の公衆トイレの新設と、現在、奥入瀬溪流では携帯電話が繋がらない状況であるため、通信環境の整備に取り組んでいただきたい。

県 奥入瀬溪流のトイレと通信環境については問題意識を持っている。現状のトイレを水洗化するだけでなく、増設も考える必要があるほか、通信環境の整備についても、スポットでやればいい話ではなく奥入瀬溪流14km全体をどうすればいいか考える必要がある。奥入瀬溪流エコツーリズム推進全体構想の中で、トイレと通信インフラをどうやって整えていくのか議論を深めていきたい。



その他の要望事項

3	公立病院の運営にかかる更なる財政支援について（最重点要望・新規）	13	高齢者の軽度・中等度難聴者への支援について
4	人口減少克服に向けた施策の充実について（最重点要望）	14	三沢空港の周辺環境整備に向けた支援について
5	三沢空港発着路線の維持・拡充等について（最重点要望）	15	持続可能なサケふ化放流事業について
6	放置遊覧船への対応について（最重点要望）	16	一般国道45号の4車線化による高速交通網へのアクセス強化について
7	国民健康保険の保険料（税）水準統一に向けた検討の加速化及び市町村が保有する国保事業基金の活用策について（新規）	17	主要地方道三沢十和田線の整備について
8	第80回国民スポーツ大会における開催経費支援の強化について（新規）	18	八戸・十和田・小坂間の道路整備について
9	生活交通路線維持に係る支援について（新規）	19	一般国道103号奥入瀬 ^{あおふなやま} （青楓山）バイパスの整備について
10	犯罪被害者等支援担当職員の育成への支援及び犯罪被害者等に対する経済的支援制度の創設について	20	二級河川奥入瀬川の河床整理について
11	消費生活相談員の育成への支援及び恒久的な財政支援について	21	医療的ケア児の通学支援の充実について
12	周産期医療関係医師の確保について		